

2005.9.5 樽前山火山活動時における初動対応検討会調整会議のようす

樽前山の噴火活動は、北海道経済への影響も甚大であり、その規模によっては、周辺住民の生命も脅かすことになります。特に苫小牧周辺も含め避難対象となる企業・団体・住民は、10数万に登るほか近隣の千歳空港・JRなど北海道もしくは我が国の中枢交通輸送網の運行対応など多くの課題を有しています。樽前山が有事において的確な避難計画のもと道民の安全安心を確保し、変わりゆく噴火活動に対して適切な危機管理を行い、北海道経済への影響を極力最小限にすることが、防災機関に求められています。



第1回 樽前山火山活動時における初動対応検討会 開催される！

2005.10.21



これまでの樽前山の噴火活動を踏まえ、防災対策上の観点から、今後検討すべき噴火活動を想定する必要があります。また有珠山2000年噴火の経験を得た北海道の防災機関が多くの教訓と知見を共有することも重要と考えます。

この静穏期に樽前山の火山活動時における初動対応と防災機関の災害対応について連携を深め、取り組みを共有することは、いま最も急がれることと考えます。

～当日の進行～

1. 開会
2. 挨拶
3. 設立趣意について
4. 他火山での初動対応
5. 「岩手山における初動活動の取り組みと課題」
齊藤徳美 岩手大学副学長
「有珠山・三宅島における初動対応の実際と課題」
関克己 国土交通省河川治水課長
(元内閣官房安全保障・危機管理室内閣審議官)
6. 「樽前山の噴火履歴と活動のこれまで」
宇井忠英 北海道大学名誉教授
7. 議事
(1) 検討会全体の作業方針
(2) 検討内容および検討成果について
8. その他